

2006年5月22日

CONTENTS

■ イベント報告	1
■ 新スタッフのご紹介	2
■ ビジネス情報	3
■ コラム～山口大学名誉教授 松浦 満	4
■ 研究開発助成金等の公募情報	4
■ 平成18年度 客員教授のご紹介	5
■ 客員教授による特別講演会情報	6
■ 出展情報(予告)	6

発行 山口大学地域共同研究開発センター
 連絡先 〒755-8611
 宇部市常盤台2丁目16-1
 電話 0836-85-9951 F A X 0836-85-9952
 e-mail jim@crc.yamaguchi-u.ac.jp
 URL http://www.crc.yamaguchi-u.ac.jp

イベント報告

中国の知財保護の現状と課題を知る！ 山口大学とアメリカ大使館による知的財産セミナーを開催

4月3日(月)に山口大学地域共同研究開発センターとアメリカ大使館(在福岡アメリカ領事館広報部)主催による知的財産セミナー「中国における知的財産権保護の強化について」が山口大学ベンチャービジネスラボラトリーセミナー室において開催されました。

講演に先立ち杉原美一副学長からの開会挨拶後、今回のセミナー企画にご尽力いただいた福岡アメリカ領事館広報担当領事であり、福岡アメリカンセンター館長のジョン・ダイソン氏より本セミナーの趣旨等についての説明がありました。講演では、中国(北京)アメリカ大使館知的財産権専門官のMark Allen Cohen氏から「Ensuring Strong Intellectual Property Rights Protection in China」という演題でご講演をいただきました。Cohen氏は在中国米国大使館における初の知的財産権専門官であり、中国における知的所有権やその保護に関するアドバイスを米国政府とその関連機関、在中米国民間企業などに提供していることもあって、中国の知財の現状について事例を挙げながらわかりやすく説明されました。

その後の意見交換の時間では、参加者から中国知財管理の問題点や今後大学、企業がそれにどのように関わっていけばよいかなどの質問、意見が出されるなど、終了時間を超過してCohen氏と参加者との間で熱い議論が交わされました。



新スタッフのご紹介



山口大学地域共同研究開発センター 専任教授
近久 博志(ちかひさ ひろし)

平成18年度から地域共同研究開発センターに勤務することになりました近久です。

建設会社の技術部門に所属し、主に、ダムやトンネルや地下発電所などの計画や設計を手掛けてきましたが、近年は、技術研究所や会社の技術部門の統括管理者として、企業における技術経営と技術者の育成にも携わるようになってきました。

建設会社というと建設構造物そのものに特化しているようなイメージが強いと思いますが、近年の建設構造物は、単に、事業者が考えるものを造るのではなく、より良い事業計画を実現させるための手段として位置づけられることが多くなってきております。事業者のニーズに対応するために、建設会社は、近年、事業者と一緒に事業の推進や活動の計画・策定など、多岐の業種に跨って活動をするようになってきております。

こうした経験を通じて培ってきた実社会におけるニーズや課題の理解が、本学の研究開発成果の技術移転や今後の取り組みなどの活動に、さらに、これまで構築してきたネット・ワークとそこから得られる産業界の情報が、社会貢献や環境共生を目的とする本学の産学公連携の活動推進に、幾分なりともお役に立つのではないかと考えております。

何かあればお気軽に、声をお掛けいただければ、幸いです。



山口大学地域共同研究開発センター
客員研究員(産学公連携コーディネーター)
吉見 孝則(よしみ たかのり)

この4月に宇部市から前任の部坂の後任として山口大学地域共同研究開発センターに派遣されました。よろしくお願いします。

引継ぎの際のキーワードは、「山口大学は宇部市の宝」。着任してわずか3週間で、その意味がわかってきました。私の前職は税部門のため、国立大学法人山口大学と宇部市が地域社会の発展に寄与することを目的として、包括的連携・協力に関する協定が締結されたことは記憶に残っていませんでした。ところが一覧資料により、今までの実績と今後の事業展開を見ても、地域産業の創造・育成、地球温暖化対策などの環境保全、中心市街地の活性化、地域の保険・医療・福祉の充実などに着実な成果をあげ、また多様な取組みがすすんでいることに大きな喜びを感じております。

個人的には、市街地の空洞化、地産地消と農地の荒廃、ごみの有効利用、現代彫刻が気になるテーマですが、過去からの遺産を大事にし限られた資源を最大限に活用していくことを第一義に考えていきたいと思っております。

限られた任期ではありますが、市行政の各分野とのパイプ役に徹し、「ふるさと宇部」の発展のため、これまでの経験と人的ネットワークを活用して多いに(冷)汗をかきたいと思っております。

ビジネス情報

「中国地域知的財産推進行動計画」を策定(中国経済産業局)

内 容: 政府の策定した「知的財産推進計画」に基づき、中国地域における知的財産推進行動計画を策定した。

- ・地域における知財マインドの醸成
- ・知財活動に取り組んでいる企業への対応
- ・企業の知財活動を補完する人材確保への対応
- ・大学を中心とする知財の円滑な移転への対応
- ・技術流出防止、地域ブランド化への対応

詳細→ <http://www.chugoku.meti.go.jp/info/press/h18/20060420.pdf>

中国地域経済の動向に関する調査結果(第16回)(中国経済産業局)

内 容: 中国地域経済の動向は、全体として緩やかに改善。山陽3県では、輸送機械、化学などが好調で改善傾向が続いている。一方、山陰2県では改善が遅れている。

詳細→ <http://www.chugoku.meti.go.jp/info/press/h18/20060417.pdf>

特許出願技術動向調査報告(特許庁)

内 容: 技術開発・研究開発、特許戦略の構築に参考となる情報。
調査テーマは重点8分野(ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料、エネルギー、製造技術、社会基盤、フロンティア)

詳細→ <http://www.jpo.go.jp/cgi/link.cgi?url=/shiryou/gidou-houkoku.htm>

平成18年度 特許出願に関する先行技術調査の支援事業のお知らせ(平成18年度 中小企業等特許先行技術支援事業)(特許庁)

内 容: 中小企業・個人の方からの特許出願(平成16年4月1日以降に出願していて、出願番号が付与されており、まだ審査請求を行っていないもの)について、出願人本人の依頼に応じて、先行技術調査を行う。

詳細→ http://www.jpo.go.jp/cgi/link.cgi?url=/torikumi/chushou/senkou_chousa.htm

平成18年度版 中小企業施策利用ガイドブック及びリーフレット発行(中小企業庁)

内 容: 平成18年度の中小企業施策概要について紹介。下記URLから、閲覧及びダウンロード可能。

詳細→ http://www.chusho.meti.go.jp/soudan/060420panf_hakkou.html

中小企業再生支援協議会の全体状況について(中小企業庁)

内 容: 再生計画の策定完了または支援中の企業が、1371社となり、その他の相談企業においても、アドバイスによって課題解決するなど、成果拡大。

詳細→ http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/saisei/060426kyougikai_jyokyo.htm

コラム

**共同研究・受託研究の推進、
知財権利化、技術移転活動の融合化、一体化を！！**



山口大学名誉教授 松浦 満

地方においては、大学への地域文化や活性化への期待は大きい。山口県の中で山口大学への期待は多分、首都圏など中央で感じられていることより想像以上のものです。

約15年前ですが、工学部長になり、社会人博士課程への入学勧誘と共同研究の誘いを目的に、1,2週間かけて岩国から下関まで山口県内の主要企業約70~80社を訪問しました。社会に開かれた大学としての努力は、以外にうまく伝わっていないと感じました。

ある会合で、「工学部長が営業活動をしていると話題になっている」と言われたりもしました、「大学はじっとしていれば良い。」とかも言われていたこともあります。もはやそんな時代ではないのにと感じました。

企業訪問の効果が、どこまであったのかは分かりませんが、後年、先生の訪問のおかげで社内で社会人博士課程へ入学させてもらえることになり、博士号を取得出来たと何度か人から言われたことがあり、やってよかったと感じました。

その後、1,2週間かけての山口県内の企業訪問は、地域共同研究開発センター研究協力会設立などの際にもしました。その際に、もう一段、大学と民間との協力を進めるには橋渡しをするコーディネーターの重要性を強く感じました。

1990年代前半に山口県関係者と共に、アメリカ・ノースカロライナやMITの共同研究、受託研究、技術移転が一体となったTLO活動を見てきた経験もありましたので、コーディネーター活動充実への思いが、TLO設立に向けた活動のきっかけでした。国内ではまだほとんどTLOなど話題も出ていない時期でしたが・・・。

幸い大学内で皆様のご協力を頂き、大学全体として検討されたTLO設立として、地方の大学として、また、中四国九州として、初めてのTLO設立がなされ、活動が開始されました。

現在では、知財本部事業がスタートしたこともあり、地域共同研究開発センター、知財本部、TLOで分担している共同研究・受託研究の推進、知財権利化、技術移転活動が、融合し、一体となった活動をどう構築するかが課題と感じています。

このような活動の中から山口県発の技術が世界へ出て、地域の活性化につながれば・・・と願っています。

研究開発助成金等の公募情報



【NEDOからの公募】

- 費 目：(新エネルギー技術開発プログラム)
「大規模電力供給用太陽光発電系統安定化等実証研究」
に係る委託先公募について
- 公募期限：平成18年6月5日(月)17:00必着(郵送含む)
- 詳細→ http://www.nedo.go.jp/informations/koubou/180418_1/180418_1.html

【経済産業省からの公募】

- 費 目：平成18年度「地球環境・プラント活性化事業等調査」に係る委託先の公募について
- 公募期間：平成18年4月24日(月)～平成18年5月26日(金) 17:00まで
- 詳細→ <http://www.meti.go.jp/information/data/c60424fj.html>



平成18年度 客員教授のご紹介

当センターでは、今年度も山口大学と民間企業等との共同研究の推進等を目的として民間機関等から客員教授をお迎えし、「特別講演会」や「セミナー」等を開催致します。なお、講演会のご案内はセンター発行のメールマガジンやホームページでもお知らせしております。

氏名	現職	専門分野
齋藤 真由美	特許庁 特許審査第三部 生命工学審査官	知的財産権制度における 医学研究成果の保護・活 用のあり方
松田 臣平	(独)科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 「環境ナノ触媒」技術参事	ベンチャー・ビジネス特論
横林 寛昉	株式会社YBI 社長	ベンチャー・ビジネス
植田 清隆	東北大学大学院工学研究科 客員教授	・電力系統の計画と運用 ・超電導電力応用
奥山 茂	大正製薬(株) 医薬動態・安全性研究所長	創薬
岡本 正男	(社)全国治水砂防協会 常務理事	防災
河内 義文	(有)ケイズラブ 代表取締役	・耐震地盤工学 ・技術者倫理(環境倫理 学)
古賀 敦之	(財)西日本産業貿易コンベンション協会 チーフプロデューサー	地域産業振興(社会企業 論、経営戦略論、地域経 営)
小谷 裕司	(株)エイトコンサルタント 代表取締役社長	
佐藤 荘助	特許庁 特許審判調査員室	工業所有権
高谷 宗男	武田薬品工業 医薬ライセンス部長、グループマネージャー	生命科学(有機化学、医薬 品化学、バイオテクノロ ジー)
辻本 一義	辻本法律特許事務所 所長 弁理士	知的財産権
辻本 希世士	辻本法律特許事務所 副所長 弁護士/弁理士	知的財産権
坂内 誠	(株)オリンパス ライフサイエンスカンパニー バイオメディカル開発部 開発1グループ グループ課長	医療機器開発

客員教授による特別講演会情報

「『安全と環境の21世紀』に果たす砂防の役割」

日時:平成18年6月6日(火) 15:00~17:00

会場:山口大学工学部 D講義棟D11教室

講師:岡本 正男 山口大学客員教授 (社)全国治水砂防協会 常務理事

申し込み・お問合せ先:山口大学地域共同研究開発センター

Tel:0836-85-9951 Fax:0836-85-9952

E-Mail:jim@crc.yamaguchi-u.ac.jp

詳細→ <http://www.crc.yamaguchi-u.ac.jp/event/2006/June/060606.htm>

「MOT入門(ハイテク企業の研究開発戦略)」

日時:平成18年6月13日(火) 16:10~17:40

会場:山口大学工学部 D講義棟D31教室

講師:松田 臣平 山口大学客員教授

(独)科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業「環境ナノ触媒」技術参事

申し込み・お問合せ先:山口大学地域共同研究開発センター

Tel:0836-85-9951 Fax:0836-85-9952

E-Mail:jim@crc.yamaguchi-u.ac.jp

詳細→ <http://www.crc.yamaguchi-u.ac.jp/event/2006/June/060613.htm>

出展情報 (予告)

山口大学は下記のイベントに出展します。

◎第5回産学連携推進会議 6月10日(土)、11日(日) 京都国際会議場

詳細→ <http://www.congre.co.jp/sangakukan/>

◎イノベーションジャパン2006 9月13日(水)~15日(金) 東京国際フォーラム

詳細→ <http://expo.nikkeibp.co.jp/innovation/greet/>



企業のみなさまへ～技術・経営相談を随時受付中～

当センターでは、民間企業等からの技術・経営に関するご相談を随時受け付けております。専任スタッフや産学公連携コーディネータがご相談を受け賜り、相談内容に応じて山口大学の適任者(教授, 助教授, 助手, 技官)や他の関連機関をご紹介致します。工学の全分野だけでなく、物理, 生命科学, 医学など、あらゆる分野の技術相談を受け付けています。仕事上で簡単に解決出来ない疑問やトラブルに出会った時には、お気軽にご相談下さい。



山口大学 産学公連携・創業支援機構

地域共同研究開発センター

Collaborative Research Center, Yamaguchi University

連絡先: 〒755-8611 宇部市常盤台2丁目16-1

発行: 山口大学地域共同研究開発センター TEL: 0836-85-9951 FAX: 0836-85-9952

E-mail: jim@crc.yamaguchi-u.ac.jp ホームページ: <http://www.crc.yamaguchi-u.ac.jp>